

調査対象物質名	分析法フローチャート	備考
<p>[26] メトキシクロル</p>	<p>【水質】</p> <p>水質試料 200 mL</p> <p>溶媒抽出</p> <p>ヘキサン 50 mL 振とう 20分間 静置 30分間 ×2回</p> <p>クリーンアップスピイク添加 メトキシクロル-¹³C₁₂ 400 pg</p> <p>容器洗浄</p> <p>5% 塩化ナトリウム水溶液 100 mL 振とう 30秒間 静置 10分間以上</p> <p>濃縮</p> <p>ロータリーエバポレータ 2~3 mLまで</p> <p>カラムクリーンアップ</p> <p>フロリシール 3g、無水硫酸ナトリウム 1 cm 妨害物質除去: ヘキサン 100 mL 溶出: シクロメタン/ヘキサン(50:50) 50 mL</p> <p>濃縮</p> <p>ロータリーエバポレータ 1 mLまで</p> <p>濃縮・定容</p> <p>乾燥空気パーシ 20 µL</p> <p>GC/HRMS SIM-EI</p> <p>シリンジスピイク添加 PCB#9、#19、#70、#111、#155、 #178及び#202の¹³C₁₂-体を 各1,000 pg</p> <p>分析機関報告</p>	<p>備考</p> <p>分析原理: GC/HRMS SIM-EI</p> <p>検出下限値: 【水質】 (pg/L) [26] 40</p> <p>分析条件: 機器 GC: Agilent 6890/7890 series MS: Waters AutoSpec Ultima/Premier 他 分解能: 10,000 カラム SGE HT8-PCB 15 m × 0.25 mm</p>

調査対象物質名	分析法フローチャート	備考
<p>[26] メトキシクロル</p>	<p>【底質】</p> <p>底質試料 湿泥 (乾泥換算2 g)</p> <p>溶媒抽出 アセトン 20 mL 振とう 10分間 超音波 各回10分間</p> <p>遠心分離 3,000 rpm、10分間</p> <p>クリーンアップ スpike添加 メトキシクロル-¹³C₁₂ 400 pg 2回繰り返す</p> <p>容器洗浄 移し替える前の容器を ヘキサンで洗い、移し替え た溶液に合わせる</p> <p>希釈 5% 塩化ナトリウム水溶液 150 mL</p> <p>溶媒抽出 ヘキサン 30 mL 振とう 30秒間 静置 10分間以上 ×2回</p> <p>洗浄 5% 塩化ナトリウム水溶液 50 mL 振とう 30秒間 静置 10分間以上</p> <p>濃縮 ロータリーエバポレータ 2~3 mLまで</p> <p>カラムクリーンアップ フロリシール 3g、無水硫酸ナトリウム 1 cm 妨害物質除去: ヘキサン 100 mL 溶出: シクロメタン/ヘキサン(50:50) 50 mL</p> <p>濃縮 ロータリーエバポレータ 1 mLまで</p> <p>ゲルパーミエーション クロマトグラフィー プレカラム Shodex EV-G AC、カラム Shodex EV-2000 AC アセトン/クロロヘキサン(20:80)、分画採取時間20~24分 注入液5 mL、注入残液1 mL</p> <p>濃縮 ロータリーエバポレータ 1 mLまで</p> <p>濃縮・定容 乾燥空気 20 µL</p> <p>GC/HRMS SIM-EI</p> <p>スpike添加 シリンジ PCB#9、#19、#70、#111、#155、 #178及び#202の¹³C₁₂-体を 各400 pg</p> <p>分析機関報告</p>	<p>備考</p> <p>分析原理: GC/HRMS SIM-EI</p> <p>検出下限値: 【底質】 (pg/g-dry) [26] 3</p> <p>分析条件: 機器 GC: Agilent 6890/7890 series MS: Waters AutoSpec Ultima/Premier 他 分解能: 10,000 カラム SGE HT8-PCB 15 m × 0.25 mm</p>

調査対象物質名	分析法フローチャート	備考
<p>[26] メトキシクロル</p>	<p>【生物】</p> <pre> graph TD A[生物試料 乾重量5g] --> B[ホモジナイズ アセトン/ヘキサン(1:2) 30 mL 2分間] B --> C[遠心分離 3,000 rpm、10分間] C --> D[洗浄 5% 塩化ナトリウム水溶液 150 mL 緩やかに攪拌 ×2回] D --> E[脱水 無水硫酸ナトリウム] E --> F[濃縮 ロータリーエバポレータ 2 mLまで] F --> G[定容] G --> H[ゲルパーミエーション クロマトグラフィー] H --> I[濃縮] I --> J[カラムクリーンアップ] J --> K[濃縮] K --> L[GC/HRMS SIM-EI] subgraph RepeatedSteps [2回繰り返す] B C end Note[クリーンアップ spike 添加 メトキシクロル-¹³C₁₂ 400 pg] Note2[シリリング spike 添加 PCB#9、#19、#70、#111、 #155、#178及び#202の ¹³C₁₂-体を各1,000 pg] Note -.-> B Note2 -.-> L </pre> <p>生物試料 乾重量5 g</p> <p>ホモジナイズ アセトン/ヘキサン(1:2) 30 mL 2分間</p> <p>遠心分離 3,000 rpm、10分間</p> <p>クリーンアップ spike 添加 メトキシクロル-¹³C₁₂ 400 pg</p> <p>2回繰り返す</p> <p>洗浄 5% 塩化ナトリウム水溶液 150 mL 緩やかに攪拌 ×2回</p> <p>脱水 無水硫酸ナトリウム</p> <p>濃縮 ロータリーエバポレータ 2 mLまで</p> <p>定容</p> <p>ゲルパーミエーション クロマトグラフィー</p> <p>移動させる前の容器を ヘキサンで洗い、移し替え た溶液に合わせた後に、 ヘキサンで6 mLに定容</p> <p>プレカラム Shodex EV-G AC、カラム Shodex EV-2000 AC アセトン/ヘキサン(20:80)、分画採取時間19~24分 注入液5 mL、注入残液1 mL</p> <p>濃縮 ロータリーエバポレータ 1 mLまで</p> <p>カラムクリーンアップ</p> <p>フロリジル 3g、無水硫酸ナトリウム 1 cm 妨害物質除去：ヘキサン 100 mL 溶出：ジクロロメタン/ヘキサン(50:50) 50 mL</p> <p>濃縮 ロータリーエバポレータ および乾燥空気パージ 30 μLまで</p> <p>シリリング spike 添加 PCB#9、#19、#70、#111、 #155、#178及び#202の ¹³C₁₂-体を各1,000 pg</p> <p>GC/HRMS SIM-EI</p> <p>分析機関報告</p>	<p>備考</p> <p>分析原理：GC/HRMS SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【生物】 (pg/g-wet) [26] 4</p> <p>分析条件： 機器 GC：Agilent 6890/7890 series MS：Waters AutoSpec Ultima/Premier 他 分解能：10,000 カラム SGE HT8-PCB 15 m × 0.25 mm</p>